



三陸河北新報社

〒986-0827

石巻市千石町4-42

電話 0225-96-0321

FAX 0225-21-1668

気仙沼支社

〒988-0053

気仙沼市田中前4-7-1

電話 0226-23-3254

河北新報メディアセンター

〒980-8660

仙台市青葉区五橋1-2-28

電話 022-211-1551

メディア猫の目

http://ishinomaki.kahoku.co.jp/

© 三陸河北新報社 2014

つじ野

「川先生は、社会福祉制度政策・地域福祉を専門分野とする方で、大学の学長である。出会ってから15年は過ぎただろうか、県社協主催の研修会で初めて会った時に「君は何を言ってるの?」って言われていたような記憶がある。方言やなまりを使って話をしている、都会人には「通じない」と言いたかったのである。」

そんなことから「麦になまってる石巻市社協の渋谷」として先生にインプリントされ、研修会に参加するたびに

声を掛けられるようになり、今では友人のようにつながっていただいている。東日本大震災の時に大変心配してもらい、その年の大学の入学式では学長あいさつの中で「石巻の友人」として、新入生に「友

は無事である」と言ってくれたことが大変ありがたかった。その先生が、石巻市社協のために何か手伝いたいと言いつつ、「社協の地域福祉活動計画」の策定に携わることになった。幾度となく石巻に来

ては打ち合わせをするようになったのだが、これがまた地方独特のしゃべり方をする職員である。今は、社協のボランティアセンター事業のアドバイザーとして社協事業推進のために尽力いただいている。話を聞くことも、なまりに慣れるまでは大変だったでしょうが、今では先生も違和感なく普通に会話を聞いてくれているので安心してしゃべっている。

川先生

(たぶん、常日頃の会話がそうなのだろうと、思ったのかな?)

そうした中、半年近くにも及ぶ検討会や会議を重ねて完成したのが「第2次地域福祉活動計画」であった。自分たちの目線で何度もディスカッションして

3丁目 (渋谷秀樹 石巻市社協ボランティアセンター 1所長 石巻市東中里)